



長押金具・障子金具 繊細で優美な鋳意匠



長押金具・障子金具 魚々子の細かさは驚異的だ

# 工芸として鋳金具の美意識・意匠・技

## 加茂定 (京都)



障子門金具



柱金具

加茂定(京都)は様々な鋳の逸品を所蔵するが、今回は仏壇鋳の実際の構成を拝見させて頂いた。実は、この仏壇鋳については随分と以前に紹介したことがあるのだが、改めて拝見すると、その意匠と技術の高さに驚く。

鋳自体は地彫りを基本としているが、長押(上框)鋳の魚々子の細かさは現在ではほとんど見ることが出来ない。意匠は鉄仙。中段鋳は透かし地彫りで紅葉の上に桜を散らす。

◎加茂定 TEL075(351)0128

障子鋳は菊透かし。左右非対称の図柄であることが、写真からお分かり頂けると思う。菊文様は柱類にも使われている。下段と引出の鋳は菊の地彫り。何よりも木瓜部分の曲線が魅力的だ。鋳もそうだが、箔や塗りの仕上がりは全く衰えていない。

塗り・箔・蒔絵・彫刻・鋳に最高峰の技が使われたこの仏壇はまさに最高峰の仏壇である。



上段金具 桜と紅葉の文様



上段金具



障子金具



塗り・箔・彫刻・蒔絵・鋳 現代日本の最高峰仏壇のひとつである加茂定の仏壇



裏門



内陣の構成



須弥壇